



## 令和元年度第1回市町村議会議員特別セミナー報告書（創政会）

【開催日】令和元年8月1日（木）～8月2日（金）

【会場】滋賀県大津市 全国市町村国際文化研修所

【主催者】全国市町村国際文化研修所

【参加者】 須藤智子 伊藤隆信 関戸郁文 片岡健一郎 井上真砂美

### 講義1 滋賀県の挑戦 ～みんなでつくろう！健康しが～

講師；滋賀県知事 三日月 大造

知事三日月大造氏が自己紹介と共に～みんなでつくろう！健康しが～

「滋賀県」を国や世界と比較しながら紹介した。面積は全国38位、人口全国26位。気候が日本海側気候に属し積雪量が世界1位（11.82メートル 1927年伊吹山 ※ギネス記録）。交通アクセスのよさを強調。（例えば、東京6：00発 広島6：22発 で滋賀県庁に8：30着ができる！！）

歴史においては古代から中心的な場所、琵琶湖の紹介・価値について力説された。しかし、1977年赤潮が発生したと危機についても紹介され改善の努力を力説された。

暮らしについては、男性の平均寿命が全国一位81.78歳[厚生労働省平成27年都道府県別生命表の概況]は皮切りに「健康寿命」も全国上位であること、健康な生活習慣をもっている人が多いこと、生活習慣を支える生活環境のよさを説明頂いた。産業・大学等集積していることも強調された。

知事として大切にしている基本姿勢として、協同・対話・共感をあげられた。知事自身は住居を8か所転居されており、県内集落に短期間移住することで、各地の実態を掴むことをされた。先進的な取組を直接訪問し実感されてこられた。人々との対話を重視し、共に働き体験されていた。

また、「働き方改革」の取組をさらに進化させ、県庁にあける「健康経営」に取り組んだことを強調。

県内各地を精力的に回ることで、感じたことを問題意識として提示されていた。

今後は三点を問題提示し、「新しい豊かさ」を追求していくと言及された。

①豊かさ・幸せとは②今の生活は持続可能か？③誰かを犠牲にしていないか？

そして、SDGsを県政に取り込むことを宣言（2017年 都道府県初）

2019年7月 SDGs未来都市に選定された。

また、次の2大「ドラマ」放送予定

① 大河ドラマ「麒麟がくる」明智光秀を主人公にしたドラマ

② 連続テレビ小説「スカーレット」信楽焼きをテーマにしたドラマ

① ②を滋賀県の宣伝に結びつけるキャンペーン計画中であると言及された。

### 所感

知事の迫力に度肝を抜いた。各地を回り現地に住居を構え住むことで市民生活を実感されていた。住居を移し住むことまでもして皆様の心に寄り添うことでより深く交流ができると思う。

当日、名刺交換をさせていただきお礼を伝えたら後日「参加お礼の葉書」が郵送されてきた。その心遣い・やる気についても感動した。

### 講義2 人生100年時代とごちゃまぜ社会

講師；社会福祉法人佛子園理事長 雄谷 良成

内容：

社会福祉法人理事として具体的な運営について紹介があった。

社会法人佛子園理念；「PLVS VLTRA」さらに彼方へ

基本方針；わたしたちは一人ひとりが暖かいまなざしと和やかな笑顔

やさしいことば 感謝とおもいやりの心譲りあう気持ちを忘れず

心に安らぎと生きるための ゆとりを提供できるよう努めます

他に、SDGs に関しての取組では、政府主導での取組「SDGs アクションプラン2019」の骨子が紹介された。日本は、豊かで活力のある「誰一人取り残さない社会を実現するため、一人ひとりの保護と能力強化に焦点を当てた「人間の安全保障」の概念に基づき、世界の「国づくり」と「人づくり」に貢献していくとある。

① SDGs と連携する「Society 5.0」の推進

② SDGs を原動力とした地方創世、強靱かつ環境にやさしい魅力的なまちづくり

③ SDGs の担い手として次世代・女性のエンパワーメント

所感：人生を長いスパンで考え、どのような社会を創っていくのか興味深かった。SDGs についても長いスパンで考えることが求められる。経済やビジネス、地方創世、女性活躍推進、高校無償化、高齢化など主に人にまつわる観点から推進されることが大切であると考えている。

### 講義3 スポーツツーリズムを活用したまちづくり

スポーツがもたらす地域活性化の効果

講師；同志社大学 スポーツ健康科学部教授 二宮 浩彰

内容：スポーツを取り巻く社会環境の Pest 分析

## 政治環境、経済環境、社会環境、技術環境

スポーツ消費者とは、スポーツに関わって、時間、金銭、労力を費やすことによって、スポーツから便益を得る購買者、参加者、観戦者、支援者のことである。

スポーツツーリストとは、日常生活圏外の場所に一時的に滞在してスポーツに関わる活動をする人々を指す。

### スポーツツーリズム行動モデルの進展

製品中心のマーケティング、消費者中心のマーケティング、人間中心のマーケティング

### スポーツツーリズムの分類とスポーツデスティネーション

#### スポーツデスティネーションのデスティネーションイメージ

スポーツデスティネーションとは、スポーツツーリズムの資源になりうる自然資源、スポーツ空間、スポーツ施設、スポーツサービスが存在し、スポーツツーリズムを惹きつける魅力的な場所である。デスティネーションイメージとは、スポーツを目的として訪問する特定の場所に対するスポーツツーリストが抱く知覚や印象である。

**所感：**スポーツツーリズムについて、新しい見方を知り、興味深く考えることができた。「スポーツ大会」を利用してツーリズム計画を立て「関係人口」の増加を図るなど、取り組めることは沢山あることを確信した。

岩倉市においても、「石仏スポーツ広場」「石仏駅」等を使っての活動が考えられる。未来都市計画の参考に利用していきたい。

## **講義4** 関係人口のつくり方 ～ぼくらは地方で幸せを見つける～

講師；月刊『ソトコト』編集長 指出 一正

関係人口という新しい概念が、地方創生の一つのヒントになりそうな気がした。お金をかけて人を集めるより、このような地道な方法で人々を引き寄せ、やがては定住につながるような施策につながるよう考えるとよいと思う。

**所感：** どの市町村においても少子高齢化問題で課題を抱えている。それぞれの魅力を見出し発信していくことが必要であることを今更ながら確信させられた。知事始めそれぞれの長は、自分が関係する団体を殊の外信じ良いものとしてとらえていただけのように発信し続けている。熱意が伝わる講義であった。

私たち議員も町の良さを発信するとともに、町の発展のために積極的にできることを取り入れていきたい。